

一般質問

△高橋議員▽
 年齢や認定の関係で介護保険サービスや障がい福祉サービスを受けられないが支援を必要としている住民もいる。



問 有償ボランティア推進について 答 あり方等社協と相談する

その支援を行うボランティアが求められていない。滝上町に限らず、新しくボランティア活動に参加する方が少なく、高齢化している。若年者の参加が進まない原因をどう捉えているか。

大きな負担を感じることなく、ボランティアするには、社会福祉協議会を窓口とし、有償ボランティア制度をつくるべきでは。

△長屋町長▽
 たしかに、高齢化してメンバーが集まらないというような課題があるが、滝上では高校ボランティアサークル活動を継承した団体も設立された。この町はスポーツ、文化などでボランティア活動が行われており、活動に参加する方が少ないとは思っていない。

対価を求めた形での

活動はボランティアの概念に合致しない。有償によるボランティア制度の創設は想定していない。ただ年齢制限等で支援を受けられないが、困っている方はいると思う。

社会福祉協議会に話を聞きたい。

△高橋議員▽
 イベントやお祭りに参加するのもボランティアだが、そこには、弁当や飲み物が支給されている。

福祉課題というのは、複雑で多様化してきている。その中で、ボランティアに参加する方の人数が少なくと個々の負担が増えていく。持続可能で成果を出せる形として、各地で有償ボランティア制度ができてきている。

ボランティアにもいろいろな形がある。社会福祉協議会と十

分協議して、制度を検討していかねばならないのではないかと。

△長屋町長▽
 公的支援に入らない困りごとに、どう向き合うべきかは非常に重い課題だ。

社協とも、制度に入らないボランティアの活動業務ができないか、相談してみたい。

△高橋議員▽
 ボランティアは無償ありきなのだという考え方ではなくて、全部フラットにした状態から社協と十分検討していくべきではないか。

△長屋町長▽
 社協の方と実現性について相談してみたい。



中学生に継承された窓ふきボランティア